

消化器外科 I に、過去に通院・入院された患者さんまたはご家族の方へ

(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号、令和5年3月27日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名] 経皮経肝門脈塞栓術と骨格筋量の関連性

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院・病院長 渥美 達也

[研究責任者名・所属] 柿坂 達彦・北海道大学病院 消化器外科 I 講師

[研究の目的] 経皮経肝的門脈塞栓術後の肝臓体積の変化と経皮経肝的門脈塞栓術前の骨格筋量の関連性を明らかにすることにより治療方法の選択に役立つ。

[研究の方法]

対象となる患者さん

2016年1月1日から2022年3月31日までの間に北海道大学病院消化器外科 I に通院または入院し、経皮経肝的門脈塞栓術を受けた20歳以上の方

利用するカルテ情報

以下の項目について、2022年10月8日までの情報を利用させていただきます。

研究対象者基本情報：年齢、性別、身長、体重、体脂肪率、握力、病歴、診断名、治療歴、生活歴、全身状況

疾患情報：治療内容、手術部位、術後合併症、入院期間、再発、予後

血液検査結果：ヘモグロビン、ヘマトクリット、白血球数、白血球分画、血小板数、ビリルビン、総蛋白、アルブミン、コリンエステラーゼ、AST、ALT、ALP、 γ GT、LDH、BUN、クレアチニン、Na、K、Cl、Ca、Zn、Fe、フェリチン、腫瘍マーカー(AFP、AFP-L3分画、PIVKA-II、CEA、CA19-9、DUPAN2、Span-1、CA125、NSE、sIL-2R)、肝線維化マーカー(4型コラーゲン7s、ヒアルロン酸、M2BP)、レチノール結合蛋白、トランスフェリン、ICG負荷試験値、感染症マーカー(HBs抗原、HBs抗体、HBe抗原、HBe抗体、HBc抗体、HBV-DNA、HCV抗体、HCV-RNA、HIV抗体、HTLV-1抗体)

画像検査結果：CT、MRI、エコー、レントゲン写真、PET-CT、 ^{99m}Tc -GSAシンチグラフィ

病理検査結果：病理診断名、病変の大きさ、病変個数、病変周囲の血管やリンパ管の中の病変の有無、組織型、分化度、リンパ節転移の有無、病変ではない部分の肝臓の状態について(炎症の程度、脂肪化の程度、線維化の程度)

[研究実施期間]

実施許可日～2025年5月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

住所：北海道札幌市北区北14条西5丁目

北海道大学病院 消化器外科I 担当医師：相山 健

電話：011-706-5927 FAX：011-717-7515